

4 ライフサイクルと定住の促進

青年から高齢者まで、世代によってその意識や意向にそれぞれの特徴があらわれている。このため、今後は町民一人ひとりが生涯安心してゆたかに定住できるよう、そのライフサイクルに応じた施策をきめ細かく展開していくことが大切であると考えられる。

世代に応じた意識・意向の特徴（平均より相対的に高い項目を示す。）

項目	青年層 <20代>	壮・中年層 <30～40代>	熟年層 <50代>	高齢層 <60代以上>
・住みよさ意識 ・定住意識（問1） （問2）		年齢が高くなるにつれて、住みよさ意識が高くなる傾向がある 年齢が高くなるにつれて、定住意識が高くなる傾向がある		
・余暇の過ごし方 （問8）		「家族との団らん」 「スポーツや健康づくり」	「ボランティア活動」	「友人・知人とのつきあい」
・高齢期の不安 （問9）		「高齢期の不安」		
・高齢期の不安の中味 （問10）		「経済的なこと」「住まいのこと」		「生きがい」
・まちづくりへのかかわり方 （問11）		「主体的にかかわりたい」		
・地域活動への参加 （問13）		「参加している」	「参加している」	
・参加したい活動 （問14）	「リサイクル活動」 「ボランティア活動」		「静かで快適な住環境を守る活動」	
・意見や要望の伝え方 （問16）	「伝えない」	「自治会の役員を通じて」		
・欲しい情報 （問17）	「イベント情報」 「子育て・教育情報」		「医療・健康や福祉情報」	
・富里の将来イメージ （問18）	「のんびりした」	「緑豊かな」		「親しみのある」
・これからの人口 （問19）	「これまで以上の増加」			
・町内に必要な施設 （問20）	「図書館」	「プール」		「老人ホーム・ デイサービスセンター」
・地区に必要な施設 （問21）	「公園・広場・遊び場」			
・重点施策 （問22）		子育て環境の充実 スポーツ・文化・レジャーの場の充実		
・若い世代の定住策 （問23）	道路や公共交通の整備		企業・工場などの誘致	
・まちの将来像 （問24）	便利で暮らしやすいまち		安心して暮らせるまち	

表中の項目は、他の年齢層と比べて相対的に高いものを示しており、必ずしも最も回答の多いものではない。

重点施策への期待(問22)については、全体としては「幹線道路や生活道路などの整備」への期待が最も多く、「ゴミや排水などの生活環境への対応」がこれに次ぐ結果となった。

しかし、これを世帯タイプ別にみると、「小学校未入学の子のいる世帯」で「保育や教育など子育て環境の充実」が最も多く、唯一80点台に達する高得点をあげているなど、特徴があらわれている。

若い世代が定住していくためには何が必要かという問い(問23)に対し、全体としては「企業・工場などの誘致を進め、働く場を増やす」ことが必要であるという回答が34.1%と最も多く、「道路や公共交通機関の整備を進め、移動の際の利便性を高める」がこれに次いで23.2%となった。

しかし、これを年齢別にみると、20代は「道路や公共交通機関の整備を進め、移動の際の利便性を高める」が第1位で、特に20代前半では35.8%となっている。

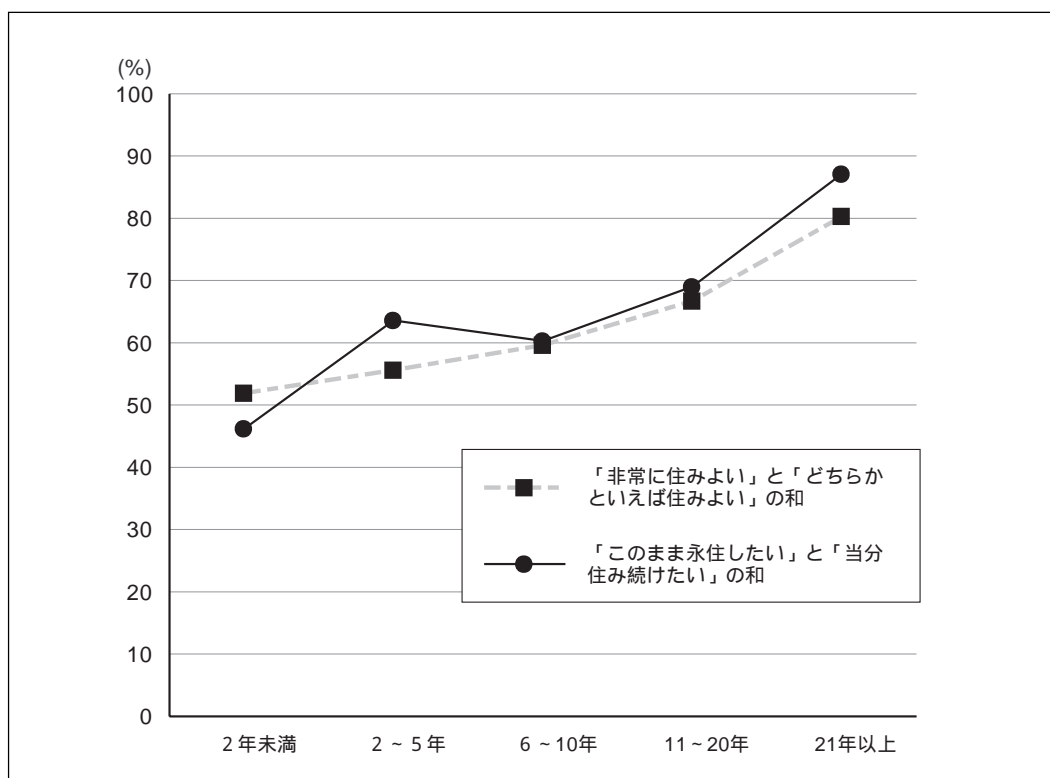
一方、30代後半からは「企業・工場などの誘致を進め、働く場を増やす」が逆転して第1位となる。特に40代前半では58.3%にのぼっている。

また、30代前半では、すべての年齢層中、唯一「子育てのしやすい環境を整える」が第1位となっており注目される。

今後のまちづくりの方向(問24)については、「生活環境が整って便利で暮らしやすいまち」が37.6%と最も多く、「だれもが健康で生涯にわたって安心して暮らせるまち」が33.5%とこれに次いでいる。

年齢別にみると、20代から40代前半までは「便利で暮らしやすいまち」が最も多く、40代後半からは「安心して暮らせるまち」が逆転して最も多くなる傾向がある。

居住年数別にみた「住みよさ意識」と「定住意識」



世帯タイプ別にみた重点施策への期待（問22）

	単身・独身	小学校未入学の子のいる世帯	小・中学校の子のいる世帯	高校・大学・短大などの子にのいる世帯	社会人の子にのいる世帯	65歳以上の親や祖母のいる世帯
(ア) 幹線道路や生活道路などの整備	! 72.5	# 76.6	! 75.0	! 79.5	! 74.9	" 77.2
(イ) バスなどの交通網の整備	# 69.3	71.2	67.8	69.6	68.2	69.6
(ウ) 緑の保全や地球環境問題への対応	63.1	65.8	63.5	68.3	63.1	69.0
(エ) ゴミや排水などの生活環境への対応	66.4	" 78.8	" 74.3	" 75.9	# 72.9	! 79.6
(オ) 保育や教育など子育て環境の充実	55.3	! 80.0	65.9	60.1	58.8	64.1
(カ) 魅力的な就業機会の創出	52.9	58.8	61.7	61.6	59.9	63.2
(キ) 通勤・通学や買い物の便利さ	68.4	68.2	66.0	65.4	63.8	65.4
(ク) 高齢者や障害者（児）のための福祉対策の充実	66.0	69.8	# 71.3	73.1	" 73.1	75.3
(ケ) スポーツ・文化・レジャーの場の充実	55.3	65.8	61.8	63.8	57.0	62.6
(コ) 住民とのふれあいを高めるコミュニティづくり	59.0	59.5	57.3	60.4	58.9	60.0
(サ) 医療や保健に関する施設やサービスの充実	" 70.1	75.7	70.2	# 73.2	71.4	# 76.2
(シ) 防災や防犯などの安全対策	68.9	73.9	69.5	70.8	67.9	74.0
(ス) 情報公開など開かれた行政への対応	62.7	66.9	64.8	66.4	66.6	69.0

注：「非常に期待している」100点、「やや期待している」75点、「普通」50点、「あまり期待していない」25点、「期待していない」0点とし、点数をつけた。また、表中の丸数字は、それぞれの小学校区での順位を示す。